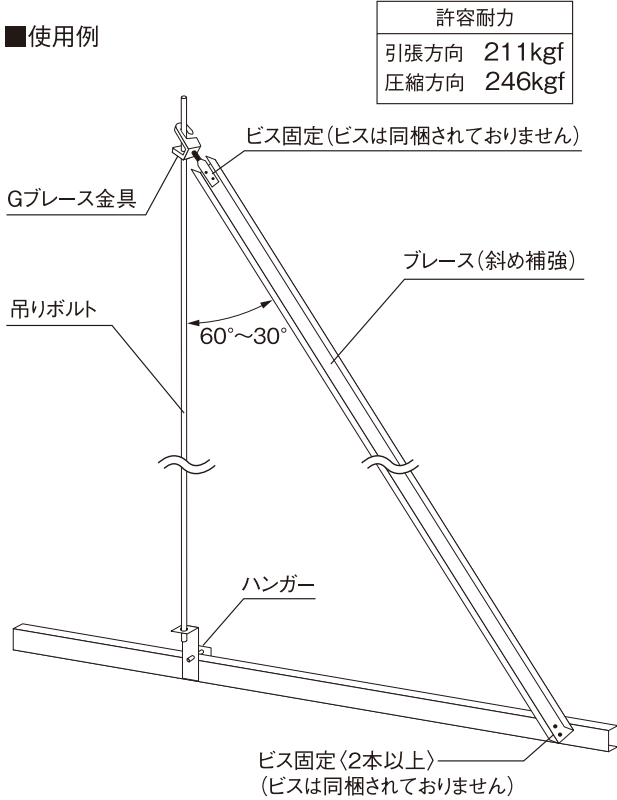


天井下地材の耐震補強

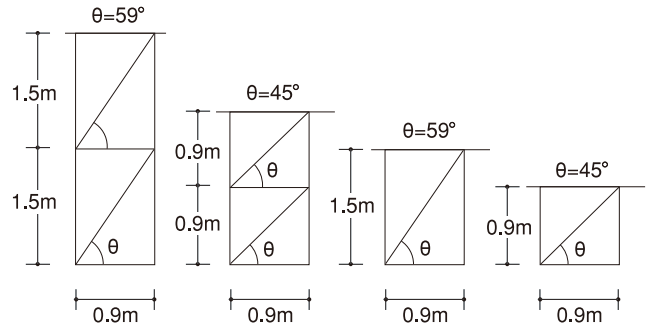
■水平補強・斜め補強

吊りボルトの長さが1.5m以上の場合は、1.5m以内に水平補強を設け、各段に斜め補強を配置する。
 斜め補強（ブレース）、水平補強の部材はC-38×12×1.2mm以上とする。
 補強材の固定方法は金物によって固定する。金物の場合は、金物の強度及び耐震性を有する金物とする。

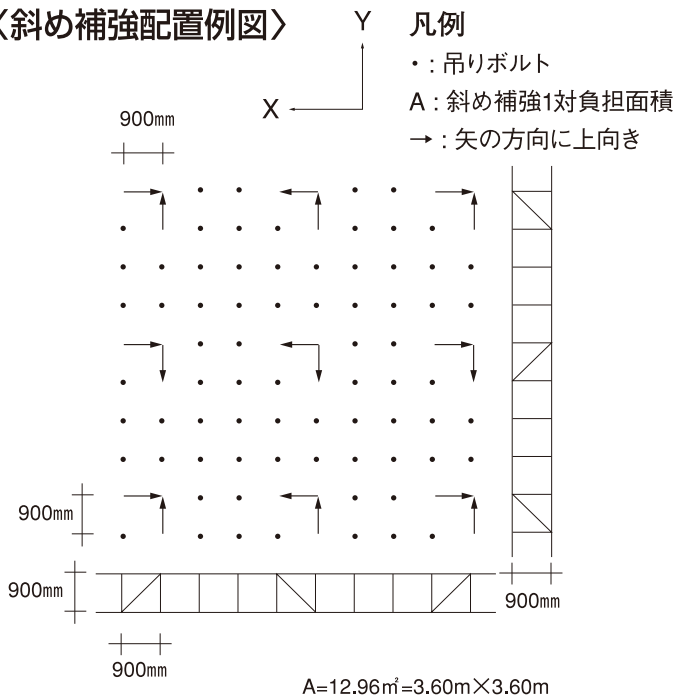


〈斜め補強・ブレースの角度〉

- 1) 斜め補強・ブレースの角度は、45度～60度の範囲に設計すること。45度が最も効果がよい。
- 2) 天井のふところの高さは、3.0m程度を限度とする。また、水平補強は、1.5m毎の2段とする。



〈斜め補強配置例図〉



〈斜め補強設置量 (㎡毎に1対)〉

天井重量 (kg/㎡)	斜め補強 角度	
	45度 (㎡)	60度 (㎡)
20	11.06	7.82
19	11.64	8.23
18	12.29	8.69
17	13.01	9.2
16	13.83	9.78
15	14.75	10.43
14	15.8	11.17
13	17.02	12.03
12	18.44	13.04
11	20.12	14.22

斜め補強はX方向、Y方向にそれぞれバランスよく均等に13㎡以内に1対（1組）以上設ける。